2026年11月17日

各　位

会社名　株式会社タスキホールディングス
代表者名　代表取締役社長　柏村　雄
（コード番号：166A　東証プライム）
問合せ先　執行役員　M&A・グループ戦略部長　淺井　亨
（TEL　03-6447-0575）

当社取締役会実効性評価の概要について

当社は、当社が持続的成長と中長期的な企業価値の向上等、上場企業としての責務を果たす上では、株主より負託を受けた取締役及び取締役会が真にその機能を発揮し、期待される役割を果たすことが必須との考えから、毎年取締役会の実効性について評価･分析を行い、その概要を開示することとしております。

この度、2026年9月期における取締役会実効性評価を実施いたしましたので、その概要について以下のとおり報告いたします。

記

１．評価の方法

今期は、全取締役（６名）及び全監査役（３名）を対象に、アンケートを実施し、アンケートの分析結果について取締役会で議論を行いました。
また、評価においては、評価プロセスの高度化及び評価の充実を目的として第三者機関を活用いたしました。

２．アンケート項目

今期のアンケート項目は以下のとおりです。
選択肢を設けない自由記述形式の設問を除き、各設問に５段評価形式の選択肢を設けております。また、各設問に自由記述欄を設けております。

①　取締役会の役割･機能
②　取締役会の規模・構成
③　取締役会の運営
④　社外取締役の活用
⑤　株主･投資家との関係
⑥　総括
⑦　当社ガバナンス体制等に関する自由記述設問

３．前回評価における課題への対応

前回評価で認識された、経営層の後継者計画、次期経営層の候補者育成に関する議論の拡充の課題に対し、指名・報酬委員会にてサクセッションプランのフレームワーク等について外部専門家も活用し議論を重ねております。引続き指名・報酬委員会及び取締役会での議論を継続し、持続的な企業の成長及び価値向上に努めてまいります。

４．評価結果の概要

当社取締役会は、以下の理由から、取締役会の実効性は十分に確保されているものと評価いたしました。

・取締役会では、社外取締役及び社外監査役の発言が多く、社外役員が積極的に発言できる自由闊達な議論の土壌が形成されている。
・各委員会から取締役会への情報共有及び執行を担う各事業会社の経営状況全般について当社取締役会へ付議・報告される仕組みが整っており、グループ会社全体のガバナンスが構築されている。
・社外取締役及び監査役のリードにより、利益相反の監督、内部統制・リスク管理体制が適切に整備・運用されている。

一方で、引続き経営層の後継者計画、経営戦略・計画等に関する議論の深化等の継続的な議論が必要であることについて共有いたしました。

５．課題と対応策

当社取締役会は、認識された課題に対して、取締役会の議論を更に充実させ、取締役会の実効性の確保に一層努め、コーポレートガバナンスの充実と企業価値の持続的な向上を実現させて参ります。

以上